



平成 25 年 8 月 9 日

各 位

会 社 名 木 徳 神 糧 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 平 山 惇  
( コ ー ド 番 号 : 2 7 0 0 )  
問 合 せ 先 取 締 役 常 務 執 行 役 員  
管 理 部 門 長 伊 豫 田 直 記  
電 話 番 号 0 3 - 5 6 3 6 - 1 5 0 1

## 平成 25 年 12 月 期 第 2 四 半 期 業 績 予 想 数 値 と の 差 異 及 び 通 期 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 25 年 2 月 18 日に公表した平成 25 年 12 月 期 第 2 四 半 期 (平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 6 月 30 日) 及び通期 (平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日) の連結業績予想 (以下前回発表予想) を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 25 年 12 月 期 第 2 四 半 期 (累計) 連結業績予想数値との差異 (平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 6 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	62,300	390	360	220	25.93
今回発表予想 (B)	57,526	230	229	156	18.47
増減額 (B-A)	△4,774	△160	△131	△64	
増減率 (%)	△7.7	△41.0	△36.4	△29.1	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 24 年 12 月 期 第 2 四半期)	52,172	457	492	472	55.68

#### 2. 差異が生じた理由

売上高については、ミニマム・アクセス米の取扱量の増加や外食・中食等向けの業務用精米販売は堅調に推移したものの、平成24年産米の価格高騰が米消費の減退に繋がり、量販店等における精米販売や卸業者向けの玄米販売が不振であったため、前回発表予想を下回る見通しです。

営業利益と経常利益については、米穀事業では原料仕入価格の高騰に対し販売価格の値上げが十分でなかったこと、需給が緩んでいる中で在庫過多を背景に価格競争が激化したこと、加えて食品事業では鶏肉相場が低迷している中で鶏肉販売の業績悪化が長引いたこと等により、前回発表予想を大幅に下回る見通しです。

当期純利益については、営業利益並びに経常利益の大幅な減額により、前回発表予想を下回る見通しです。

3. 通期連結業績予想数値の修正（平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	124,000	820	750	450	53.04
今回発表予想（B）	117,000	100	60	10	1.18
増減額（B－A）	△7,000	△720	△690	△440	
増減率（％）	△5.6	△87.8	△92.0	△97.8	
（ご参考）前期実績 （平成 24 年 12 月期）	109,218	763	786	638	75.29

4. 修正理由

売上高については、米穀事業の販売は回復傾向にあるが上期の不足分を補えないこと、加えて第三国向けの外国産米の販売進捗が芳しくないこと等により、前回発表予想を下回る見通しです。

営業利益と経常利益については、米穀事業では平成24年産米の需給が緩んでいる中で平成25年産米は豊作基調と予測されることから、価格の先安感が強まる一方で利益率が大幅に低下すると予想されることや一部販売差損も見込まれること、加えて食品事業の鶏肉販売の収益改善を見込めないこと等により、前回発表予想を大幅に下回る見通しです。

当期純利益については、営業利益並びに経常利益の減額により、前回発表予想を大幅に下回る見通しです。

（注）本資料に記載されている業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

以 上